



共済と保険

1996年
9月号

目次

巻頭言 協同組合運動の今日的課題 甲斐武至 6

新保険業法と共済事業 大塚英明 14

企業における危機管理 奥田 剛 34

—— 不確実時代の到来と対応 ——

交差点 アジアがおもしろい 石垣 修／部署異動で得たさまざまなメ
リット 野原 博／祖父母の死と『老い』 御船 訓／鯛 吉 8

澤和彦

時言月評 相互参入と日米保険協議／郵政事業と民営化論議／朝日新聞の記事から 43

■全森連・飯塚新会長に聞く

林業に元気を取り戻したい 48

川柳講座⑥ 柳多留名句選② 富士寸八 53

共済と保険・課外ゼミナール② 保険を紹介した最初の日本人 福島恵久 54



生協の高齢者福祉活動の実践 笹野武則 56

文章上達のコツ③ 文書の目的に合わせて書く 阿里賀十 64

J A全共連、簡保年金限度額引上げに反対を表明 65

「共済基本法」雑考(上) 坂井幸二郎 66

文献協同組合法学② 松崎 良 69

数字が語る高齢社会の実態 70

国際情報 GAN、血液ウイルス感染保険実施/生命保険の快進撃はフランスのバンカシユアランス成功のあかし 72

業界情報

全労済●「一九九五年度こくみん共済アンケート調査」の結果まとまる/「第五回全労済助成事業」の対象団体と助成額が決定/「第二四回小学生作品コンクール」の作品を募集
 漁協共済●共水連、八月一日付で機構改革を実施/全国三六事務所、すべてに推進本部設置完了
 生保●生保協会、生保仲立人試験申込状況を発表/生保協会、生保エッセイを公募/各社、積立利率を改定/三井、「長寿社会研究所」を設立/生保労連、社会保障をテーマにフォーラム開催/生保協会、平成七年度事業概況を発表/三井、総合的資産分析・管理システムが稼働/生保協会長に波多氏就任/東アジア・アクチュアリー講座開講/規制緩和委員会が論点公開/簡易保険の七年度決算を発表/日米保険協議が決裂へ
 損保●ランバーマメンズ、住宅用火災にスプリンクラー割引導入/日新、富国生命と業務提携/損保仲立人合格者は一一五名/損保協会、住専処理で五〇億円抛出/事故車見積もりの新ソフト発売/総従業員数は約一〇万一〇〇〇人/自動車保険普及率は対人六八・八%、対物六八・一%/車物の平均修理費二二万七〇〇〇円/産構審が損保の問題点指摘/行革委、規制緩和で論点公開

ことば 優しい気持ち 3

記念論文募集 33
 編集後記 82

表紙・本文デザイン 相良孝道 目次カット 秋野みどり 表紙写真 ミヨウガ